

立花生徒会新聞 TRUST 通信

文化発表会

術の時間で作った作品や各文化部の作品などを展示して、それを見て回ることが出来ます。その後、体育館で人権作文や英語スピーチの発表や合唱コンクールの発表などがあります。皆さん特に合唱コンクールに力を入れているのではないでしょか?合唱コンクールでは各学年で優勝・準優勝を決めます。また、一クラスを学校の代表として選び、アルカイックホールで行われる音楽祭で歌うことが出来ます。三年生の皆さんは特に行きたいと思つてはいますが、そこで、この合唱コンクールは一年生にとっては初めてで、三年生にとっては最後になります。なので、三年生の皆さんは優勝したいとよく思つてゐるはずです。なので、そのたまにはクラスでの協力や団結なども大切です。ですが、一人一人が素晴らしい歌を歌うために努力する必要もあります。一回の練習で自分に足りなかつた物を考

べて本番でその成果をしつらえたり発揮し、悔いの残らないよう頑張ります。さらに、文化発表会では合唱コンクール以外にも会場を盛り上げるステージがあります。それは有志ステージです。これは、「学校の外で何かを頑張つている生徒に発表の機会を。」という考え方の基、行われています。これに出演する人は夏休みの頃から練習を始めています。「二期に入つてからは勉強やテストなどがあつて大変だったかもしれませんのが、当日に今までの努力を出し切れるように頑張つて下さい。

最後に文化発表会のよう大きな行事では特に生徒一人一人が協力しあつて、くことが大切です。ですから、全校生徒が一つに団結して今年度の文化発表会をしていくクラスもあります。当日までしっかりと努力をして、朝早くからクラスで集まつて朝練をしているクラスもあります。当

ブも、それぞれ大会や、コンクールなどに毎日練習を積み重ねて臨んでいます。そして、19日(月)には、学校の外でも立花中学校の生徒が活動していることを、みなさんに存じでしたでし
今月10月26日から10月30日まで赤い羽根共同募金を実施します。この赤い羽根共同募金は小学校の時にも行われていたので、皆さんもおなじみかと思います。
しかし、この募金がどうやって始まつたか、どのよううに使われているのかを知っている人は少ないのであります。ですので、少しでも関心を高めてもらうため
にも、これから少し赤い羽根共同募金の紹介をしたいと思います。
まず、この募金が始まつ

がなかつた人もクラス
達や、クラブの先輩な
色んな人が、活動して
かもしれません。そして
それを機に自分も何か
してみよう、というよ
うな気分にならぬとい
うか、それがこの学校の
特徴でもあります。

金 動

今後の
今後も、つ
かけてみてはどう
か。一人では難
かしいと思います。
皆と一緒に行な
う。

おめ、つ
る人が
地域づ
ています
尼崎市
動や、
に使わ
い羽根
など、様々な方
がおいでます。
また、羽根共同募金の
味があるのです
が、実はちや
ロッバーやアメリ
い羽根は良い行
氣」の象徴とさ
た。そのため、赤
募金の紹介をし
が、皆さんどう
同募金から、赤
われれるようにな
これまで、赤
おいて
呼びか
地域
歩いて
呼ひか
して募
金など

のはそれだけではなく、意欲・関心や点数がなども全てもらえるのです。日頃の授業を真剣にやれば、実技で落とす。ですから、それは関係ないと思われる1日の授業を真剣にやるでいきましょ

が、特に実技教科になつてくると思ふ。実技教科の場合は当がないので日々の力が必要となつてしかし、実技が出思ひ込んでゐる人ははずです。確か教科というものは実が高いですが、評

赤羽根共同募金

体の支援や、市民の優しさや思いやりを届ける運動として行われてきました。この募金により集まつたお金の、約70%は集まつた地域で使われています。例えばここ、尼崎市では老人の方や、障害のある方が生活し、児童・生徒に対しても呼びかける学校募金の他に、地域の各家庭に訪問して呼びかける戸別募金や町で歩いている人に協力を求める街頭募金、各企業を訪問して草金を依頼する法人募金など、共同募金は、学校において児童・生徒に対して呼びかける学校募金の他に、地域の各家庭に訪問して呼びかける戸別募金や町で歩いている人に協力を求める街頭募金、各企業を訪問して草金を依頼する法人募金など、

募金の紹介をし
が、皆さんどう
もし、これで少
に興味が湧いた
がいたら自分の
中で出せる範囲で
んので、ご協力な
ます。

わかつてから、他校では、他校でしまいますか？

その勉強の仕
業の生徒に負け
。それどころ
か高校を志望す
る来なくなつて
れません。そ
めには日々の
文化発表会
になりま
いい結果を
りの少ない
ラスで団結
しよう。

衣会まであと少し
した。合唱で本番
を出せるよう、残
り練習期間、各ク
ラス和して、頑張りま
（藤田・辻本・勝

編集後記

編集後記